



# 西堀小だより

【校訓】 禮儀(れいぎ) 質朴(しつぽく) 自治(じち)  
【教育目標】 やさしく かしこく たくましく

3月号 令和8年2月27日発行  
児童数 375名  
新座市西堀 2-18-3  
TEL 042(491)6671  
FAX 042(495)8848

## 教訓を活かす

校長 鶴田千尋

冷たい雪が降り、真冬の寒さの日もあれば、春を思わせる陽気になるなど寒暖の差が激しかった今月。2月は「逃げる」といわれるように、あっという間で、もう間もなく、3月、春は目の前です。学校では、3月のまとめに向けて、授業参観・懇談会を開催しました。御出席いただき感謝します。学校や家庭での様子、次年度への準備などの話題を保護者の皆さんと共有することができました。引き続きの指導に活かしてまいります。

### のど元過ぎ…

令和2年2月27日夕刻、国は新型コロナウイルスの感染拡大の防止を企図して、全国の小・中学校等に対し臨時休業を要請しました。結果的に5月までの3か月間、学校がその機能を停止することになりました。あれから6年が経ちました。令和8年3月に卒業を迎える6年生はその年の4月に入学予定で6月に入学した1年生です。

思い起こせば、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する令和5年5月8日までの約3年間は、感染症対策をとりながら学校教育が進められました。

手洗い、うがい、換気の徹底、消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスなどの基本的な感染症対策を行ってきました。

「のど元過ぎれば熱さを忘れる」ということわざにあるように、最近、感染症対策が徹底とまではいかない状況になってきています。本校でも11月と2月にインフルエンザが流行したことからも日頃からの感

染症対策の重要性を改めて感じます。

コロナ禍において、子供たちの学びを止めないために、試行錯誤を重ねながら授業づくりや学校経営に向き合ってきた教師の姿を思い起こすことは、「のど元過ぎても熱さを忘れない」ために大切な視点です。

当時の経験は、私たちに「当たり前」の学校生活がどれほど大切であったかを改めて教えてくれました。

6年生の卒業を前に、これらのことを振り返り、経験を次の教育へ確実に継承し活かしていく責務があります。子供たちが健康に、そして安心して学べる環境を守りつつ、学びの質をさらに高めていけるように努めてまいります。

### 年度末を迎えて

今年度も残りわずかとなりました。最後まで心残りのないよう、一日一日を大切に過ごしていきたいものです。

学習面では、計算や漢字はもちろん、リコーダーや跳び箱など、今年のうち十分にできなかったことを振り返り、できるように復習や練習に取り組んでみてください。

また、生活面では、規律やルールをしっかり守ること、友達と仲良く過ごすことが大切です。けんかをしないように十分気をつけ、もしけんかをしてしまっても仲直りをするなど、相手を思いやる気持ちを忘れないようにしましょう。決していじめをしないことが、みんなで安心して学校生活を送るためにもとても重要です。

一人一人が成長を感じられるよう、残りの日々を丁寧に、前向きに過ごしていきましょう。